

コロナ対応支援で 県医師会に30万円

ぎふしん愛の募金

岐阜信用金庫は12日、医療従事者に役立ててもらおうと、県医師会に30万円を贈った。同金庫の役職員が集めたぎふしん愛の募金の一部で、医師会は新型コロナウイルス患者の対応に



光崎修専務理事(左)から目録を受け取った伊在井みどり会長
＝岐阜市藪田南、県医師会館

使う。

愛の募金は、役職員からの寄付や、昨年12月に岐阜、名古屋市内の計5カ所の街頭募金で寄せられた善意。

岐阜市藪田南の県医師会館で12日、寄贈式があり、同金庫の光崎修専務理事が伊在井みどり会長に目録を手渡した。伊在井会長は「新型コロナウイルスは高齢者が増えて

おり、訪問、在宅の診療で使いたい」と話した。

(松浦健司)